

船木校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成21年7月10日(金) 19:00~21:00
場 所 船木公民館 2階 会議室
参加者数 男45人 女14人 合計59人



○これからの10年のまちづくりに向けての提言

- ① 提言内容：都市基盤について
- ② 提言内容：農園公園の設置について
- ③ 提言内容：産業振興について
- ④ 提言内容：今後の地域活動について
- ⑤ 提言内容：市民に誇れる兜山登山ルート環境整備について

1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名（温室効果ガス排出削減の中期目標に対する新居浜市の取り組みについて）

○質問

麻生首相は6月10日、2020年までの日本の温室効果ガス削減の中期目標を「05年比15%減(1990年比8%減)とする方針を決め、発表しました。

- ① この中期目標を達成するために、新居浜市は温室効果ガス削減対策にどのような取り組みを考えていますか。
- ② また、新居浜市民には、どのような影響がありますか。

○回答者（市長）

温室効果ガス排出削減は、このままの状態が続くと、我々人類が存在し得なくなるという危機感を共有し、地球規模で取り組もうというのが、一番の基本になっています。

新居浜市として何%削減するか、はっきりとした公式はまだ確立していません。環境省が、各自治体ごとの公式・計算式を平準化して出せるものを作ろうとしています。新居浜市も役立つことを積極的にしていこうと、市役所として ISO14001 を取得し、市役所内の電気・水等の使用料削減に取り組んでいます。

また、市民の皆さんへの啓発として、今年 7 月 1 日から住宅用太陽光発電システム設置補助を始めます。小中学校では、太陽光発電設備の導入を予定しており、1 校あたり 10kw ということで取り組んでいます。

レジ袋無料配布の中止は、事業者・関係市民団体・商工会議所・市を含め、マイバックの普及に取り組んでいます。これは、レジ袋製造に要する石油の消費を減らし、レジ袋の焼却を削減するものです。本当に出来るかなと思っていましたが、6 事業所で実施していただき、感謝しています。今の状況は、8 割の方がマイバックを持って買い物をしてくれています。市役所には、二三苦情がありました。全体的にはスムーズにいらっていると思っています。これによって 1 年間にレジ袋枚数の 8 割が削減されると、約 740 万トンの CO₂ を削減できるとの数値的な検証がされています。

一方、「みどりのカーテン」事業、緑によって CO₂ の削減に貢献しようということで、募集によって 60 世帯で取り組んでいただいています。市役所でも庁舎 1 階福祉課の南側で実施しています。

大生院の方では、植樹、自転車に乗ろう、ペットボトルでこういうものを作っているなどの、取り組みがされています。

地球温暖化対策にはまだまだ広がりがありますので、地球温暖化対策地域協議会を今年度中に立ち上げ、事業者・自治会・色々な団体に参加していただき、お互いに切磋琢磨して広がっていきけるような取り組みをしていきます。

市民への影響は、温度を少し上げたり下げたり、車を使わずに自転車に乗るなどの不便さも出てきますが、これらは強制されるものではなく、一人ひとりの取り組みの中で、広がっていきけるようにしたいと思っています。

産業の分野でも、産業発展には多くのエネルギーを使用しますが、これを克服していくことと、そのような環境への貢献が産業としても成り立っていく、省エネ型の色々なものが産業につながっていくことの循環も必要ではないかと思っています。

2. 校区設定市政課題

課題名 (デマンド型タクシーの導入について)

○質問

船木地区は、公共交通の空白地域となっているので、自ら交通手段を持たない交通弱者に対して、自宅から安全、低料金で安心して出かけることができ、誰もが安全便利に移動できるデマンド型タクシーの導入を図っていただきたいと願っておりますが、市はどのように考えていますか。

○回答者 (市長)

船木地区は、11号線沿線地域以外は公共交通の空白地域と認識しています。今後、さらに進む高齢化に向けて、新たな公共交通の導入を図りたいと考えており、今年3月に「新居浜市年交通計画」を策定いたしまして詳細な検討を始めました。これから、デマンドタクシーとバス路線の組み合わせによって、お互いのメリットは活かせるような方法を、またお互いのデメリットを解消できるような方法を取組んでいきたいと考えています。まず、試行として、一定のルートを設定して走らせてみて、どのくらいの効果があるか、というようなところから取組んでいければと思っています。それと財政的な問題もありまして、現行の負担と、これからの導入による新しい負担と、そして、続けていくことへの負担等含めて検討していき、是非実現できるように市民の皆さまにも、御協力とお知恵をお借りしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

3. 地域課題

課題名 ① (池田池の電気コンセントの取り付けについて)

○質問

池田池の太鼓寄せ広場と菖蒲園に100Vのコンセントの設置を要望します。

○回答者 (市長)

池田池太鼓寄せ広場の電源設備は、埋没されている電源があるので、それを有効活用できれば比較的スムーズに設置できるので、確認したうえで、できるだけ早く対応したいと思います。菖蒲園は、距離があるので、もう少し検討させていただきたいと思います。

○質問

菖蒲祭りに設置して頂いていた水洗トイレは好評でしたので是非常設をお願いします。

○回答 (市長)

常設となると電気、水道の問題があるので、検討させていただきたいと思います。

課題名 ②（下水道工事後の道路舗装について）

○質問

現在船木地区も下水工事を実施してもらっているが、埋め戻した後の舗装工事が非常に雑で、至るところ凸凹だらけで、車や自電車を運転していると、ハンドルを取られそうな箇所があります。特に児童の下校時間には、非常に緊張します。市は工事の検収時に、もう少し厳しい目でチェックをし、丁寧な工事をしていただきたい。

○回答（環境部総括次長）

下水道工事後の路面沈下によりご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。この場をお借りしまして、お詫び申し上げます。

下水道工事におきましては、下水道管を布設後、埋め戻しの際には1層20cmから30cmごとに入念に転圧締め固めを行っていますが、特に深く掘削する場合には、どうしても徐々に路面が沈下することがあります。このような場合は、仮舗装を実施し、路面補修を行いながら、自然転圧期間として2年程度経過した後に本舗装を行ってまいります。ご指摘の箇所につきましては、平成19年度の工事以降、路面補修を行ってまいりましたが、現在、ゴルフ場へ行く道の船木小学校～M2から上がって来た所までの区間は、前段のオーバーレイを施工する区間としています。クランクになっている所（アベニューハタダ東）～船木保育園の区間は、舗装復旧工事を発注しており、お盆までには本舗装が完了する予定です。

○質問

M2から上がって来た所からゴルフ場への道は、（路面状態が）もっと悪い。

○回答（環境部総括次長）

そちらも状況を観察しながら、路面補修を心がけていきます。

今後とも状況を確認しながら、本舗装及び路面補修に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○回答補足（市長）

公共下水道の工事はどの町でもそうですが、掘って埋めた後に少し待って仮舗装し、自然転圧を待つて最終的に本舗装する繰り返しになるので、なかなか綺麗にならず、何回も舗装を繰り返すような場合もあります。仮舗装、本舗装の手順となりますが、仮舗装が良いということはありませんので、その中でもきちんとした対応ができるようにしていきたいと思っています。道路そのものの不具合は、自治会等を通じてご要望をいただき、道路課等で対応していきます。

4 その他……市長のまとめから、提言に関して抜粋

提言① 都市基盤について（公共下水道の整備促進、融資あっせん制度の継続）

○市長

23年度から10年間の計画を作る中で、公共下水道であれば今普及率が53.7%で、10年後は何%との目標を立てます。整備区域はこういう区域を中心に整備するとの計画を立てます。皆様から色々な提言をいただいて、船木校区は都市基盤の中でも公共下水道の整備が一番であると十分承知しています。23年度に見直し、24年度からどの区域を整備するか計画を作っていきます。

提言② 産業振興について（企業誘致、準備オフィスを駅前に）

○市長

産業創造センターは現在満室で、そういうものが形としてできないかということだと思っています。

提言③ 農園公園の設置について（船木地区内に設置、フリーマーケット）

○市長

アイデアとして非常に面白いのではないかとと思っています。

提言④ 今後の地域活動について（自治会活動への行政支援）

○市長

自治会加入率が低下しており、個人情報保護の問題、行政の立場の堅苦しきや難しさの指摘もあります。我々としては、できるだけそこを守りながらも市長、市の責任で対応できるものは、やっていきたいと思っています。

提言⑤ 市民に誇れる兜山登山ルート環境整備について（林道及び環境整備）

○市長

地域として誇れる兜山登山ルート環境整備は、船木の皆様方の地域活動の誇りとしての取組で、これをどのような形で市として支援していけるか、そのような大きな方針を次の10年間の計画の中で進めていき、また毎年の事業の中で実現していけるようにしたいと思っています。